

# 一斉法要のご報告

【平成三十年】

## ○新年祈禱会

和太鼓大元組と川島囃子保存会の皆様が今年もやって参りました。

太鼓は大自然の樹木と動物から成り立ちます。たった一打に包蔵される重低音から高音まで広がる数多の音。その中には、様々な縁によって生かされる命の姿があらわれ、心弾む力強さと、包み込むような慈愛が感じ取れました。それらの音の連鎖は、自立しながらも支え合い共存する僧伽の姿そのもの。

そして川島囃子保存会による伝統芸能。獅子舞の大きな口で魔を祓い、おかめとひよつとこが愉快に踊り、新年を迎えた喜びを祝いました。

## — ニューズ・アラカルト —



## ○節分祈禱会

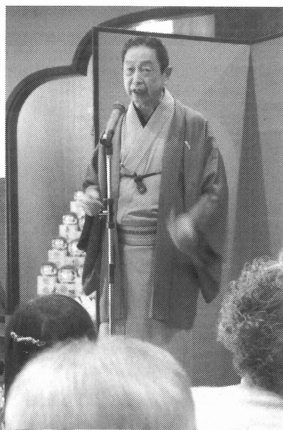
今年も悠玄亭玉八師匠の幫間芸から始まった節分追儺会。師匠にとつてのホームグラウンドは「お座敷」で、本来は夜の酔客の心をくすぐるのが幫間芸。お寺での芸も年々幅を広げ、昼でありながら夜にいるような独自の笑いの空間に参加者一同引き込まれました。

ご祈禱後は、大元組による凄まじい迫力の太鼓演奏でした。鍛錬を重ねた両の腕からはじき出される太鼓演奏は、すべての福が内に呼び込まれたかのように心が躍動いたしました。

最後は皆様お待ちかねの豆蒔き。

年男年女の皆様に舞台上上がっていただき、住職をはじめ大元組の皆さんとともに、「シャン、シャン、シャン、おシャシャのシャン」といつもの掛け声。会場に笑いが満ちみちて、福が福を呼び寄せ、大きな福で満たされておりました。

## — ニュース・アラカルト —



○春彼岸法会

法話 梅花流詠讚歌特派師範

高德寺副住職 渡邊清徳老師

日々の生活の中で執着から離れることの大切さを御詠歌を織り交ぜながらお話いただきました。自分の思い量らいから離れることにより生まれる「利他行」（他を助けようとする行い）の心。それを実践修行していくことの大切さを深く学ばさせていただきました。

（渡邊老師の法話は24ページをご覧ください）



— ニュース・アラカルト —



## ○孟蘭盆施食法会

例年善光寺の孟蘭盆供養は六月最後の金曜日に初盆供養の方、翌土曜日に一般の方を午前・午後と分け、合計三座行っておりました。

しかし、初盆の方より「土曜日だと家族も一緒にお参りできるのに…」との声も多く寄せられていたので、今年は土曜日一日で執り行いました。当日は午前午後合わせて七百五十名を越す大勢の皆様のお参りがありました。

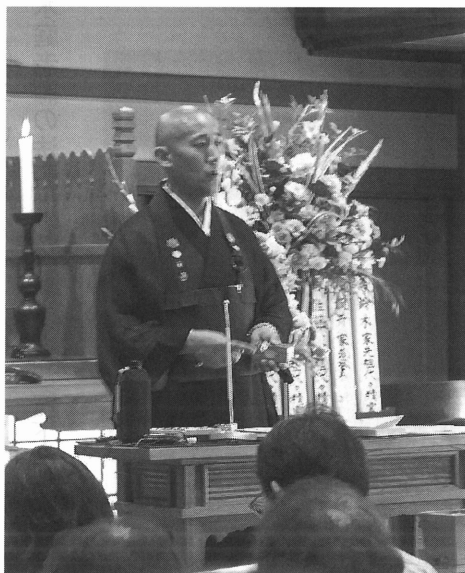
ご法話は春彼岸に続いて梅花流詠讃歌特派師 範渡邊清徳師。

「まごころおくる孟蘭盆会」と題して、ご詠歌を織り交ぜながら、孟蘭盆会の本来の意味を分かりやすく説いていただきました。

「自分のいのちを遡れば何億人ものご先祖様が存在する。そのうち一人でも欠けたら自分のいのちはないのである」という言葉は、人間関係が殺伐とした現代社会を生きる私たちにとつ

## — ニュース・アラカルト —

て深く考えさせられるものでありました。  
「まごころに生きる」や「三宝御和讃」は覚えてきている方も増えており、檀信徒の皆様にも御詠歌が行き渡ってきた事を実感しました。





○秋彼岸法会

法話 大本山永平寺別院長谷寺維那

山梨長泉寺住職 水庭浩章老師

今回のテーマは「怒り」について。日常の中で生まれる怒りの感情の働きについてのお話  
に、目から鱗が落ちました。



— ニュース・アラカルト —

また、そのことを理解した上で、心を調べて、  
相手を思いやり、叱ることの大切さを分かりや  
すく説いていただきました。

(水庭老師の法話は32ページをご覧ください)



### ○身代不動明王大祭

一昨年から引き続きお越しいただいておりますフルート奏者の米陀麻美様と、今年も、ジャズピアニストの新島豪さんが、不動明王大祭奉納演奏。「千の風になつて」や「マイウェイ」などは、参加者の皆様も口ずさみながら楽しんでおりました。



## — ニュース・アラカルト —

即興セッションのコーナーでは、僧侶の「般若心経」の読経・太鼓とピアノのコラボレーションが実現しました。不思議な組み合わせですが、自然と会場は荘厳な雰囲気になりました。また今年より参加者には「祈禱札」をお配り致しました。



## 震災義捐金の御礼

一月の日本海側の記録的な豪雪に始まり、大阪や北海道、その他各地でおきた地震、西日本を襲った豪雨、八月から九月にかけて毎週のように上陸した台風など、今年は数多くの自然災害が起こりました。

被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に、皆様の安心と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

災害はいつ起きるかわかりません。日頃の備えの大切さをあらためて感じます。互いに助け合い、共に生きる時代です。

この度、檀信徒の皆様よりお納め頂いた尊い浄財、護持会費の一部を山口義男護持会長と共に神奈川新聞厚生文化事業団を訪れ日本赤十字社へ寄付致しました。ご理解とご協力の程宜し

ニュース・アラカルト

くお願い申し上げます。



## ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 仲田清佑総代

### カジマヤーのお祝い

九月十七日、善光寺総代仲田清佑氏の「カジマヤー祝」が都内で行われました。カジマヤーとは仲田氏の故郷沖縄で数え九十七歳の時に言う長寿のお祝いのこと。沖縄では、自分の干支の年に、無病息災を願って生年祝い（トウシビ）を行う風習があります。

干支の年、年男・年女なので、数えでは十三歳、二十五歳、三十七歳、四十九歳、六十一歳、七十三歳、八十五歳、九十七歳という事です。このうち、九十七歳のトウシビを「カジマヤー」といつて、特に盛大にお祝いするそうです。

カジマヤーを迎えようと、生まれ変わって子供に戻るという言い伝えがあり、赤いちゃんちゃんこを着て、カジマヤーの由来である風車

## — ニュース・アラカルト —

をもつのが一般的とされます。このカジマヤーのお祝いは、本当に盛大で、長寿にあやかろうと、親戚だけでなく、地域の人たちみんなで盛大にお祝いするそうです。長寿を祝う風習は様々ですね。

仲田総代は国税局を退官後、仲田会計事務所を設立。善光寺先代方丈様と親交深く、善光寺開創期よりご指導を頂いております。東京琉球舞踏協会名誉会長を長く務められ、善光寺開創三十周年のお祝いで琉球舞踏を披露して頂いたこともありました。東京沖縄県人会最高顧問など数多くの役職もお務めなされています。益々のご健勝を祈念申し上げます。





## 隣地山下石材店跡地についで

善光寺隣地山下石材店の山下様がこの春、引越しをされました。山下様は善光寺の総代をお務め頂いており、引越し後の跡地を善光寺で有効に活用してもらえればとのご相談があり、今般お譲り頂きました。総代会にて報告がなされ、跡地活用について総代各位より様々なご意見を頂戴致しました。

日野公園墓地にお墓参りに来られた方々が気軽にお参りしていただける場所も必要ではとのご意見もある中で、博志方丈より先代方丈様のご誓願であった観音様をお祀り出来ればとの話がありました。

現在、山口護持会会長を委員長として建設委員会を立ち上げ検討致しております。来春には檀信徒の皆様の良いご報告が出来ることと存じます。

## トカルアラ・スニュー

### 青年会活動報告

今年度は、四月七日に花見大会、十一月十一日に、チャリティーバーベキュー大会を開催致しました。

花見大会では、善光寺正面玄関の山桜が例年よりも早く開花した為、桜も残りわずかでした。しかし、参加者は散る桜を愛でながら、用意していた焼きそばや焼き鳥のお食事を楽しんで下さいました。

秋のチャリティーバーベキュー大会では、昨年よりも更に多くの方にご参加いただきました。日頃は近くにもなかなか関わり合えない方々とも交流を深めることが出来ました。

また当日会場に設置しました「被災地義援金

募金箱」には、総額六万三千五百円のご寄付を  
いただきました。

ご参加いただきました皆様、ご協力誠にあり  
がとうございました。

ご寄付いただきました募金は、日本赤十字社  
に災害義捐金として寄付させて頂きました。

— ニュース・アラカルト —



蓮が咲きました

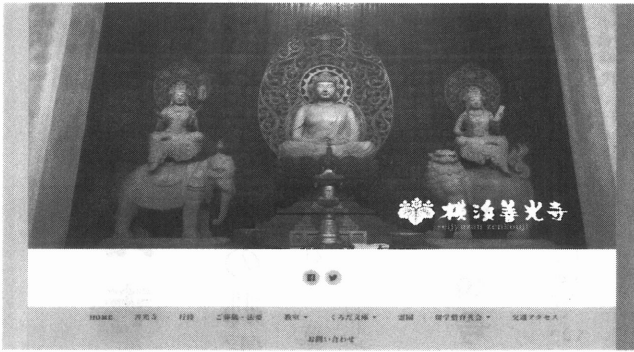




お気軽に覗いて下さい



# お寺のブログ始めました。



今月の行事

浄土宗 善光寺

お寺での行事予定

坐禅会や各種教室  
の様子



善光寺の日常の風景  
もお届けします

新しいホームページはこちら

<https://y-zenkouji.com>

 @seijyuzenkouji <https://www.facebook.com/seijyuzanzenkouji/>

 @info\_zenkouji [https://twitter.com/info\\_zenkouji/](https://twitter.com/info_zenkouji/)

